

たんぽぽめーる 第132号

社会医療法人貞仁会 新札幌ひばりが丘病院

2023年 8月 発行

夏号

北竜町ひまわりの里

東向き斜面の丘に、東向きに咲く200万本のひまわり。

ひまわりは観光客に向かって咲いています。

晴れの日のお午前中は、東向きのひまわりに陽光が注ぎ、一段と黄色が映えています。

見頃は8月上旬です 8月上旬の一面満開の時期、里には「すごい!!」の声が響きます。



目次

- 最新CT装置のご紹介 心臓CT・大腸CT
- 今 久子 医師 ご紹介
- ごみ拾いの報告
- 土曜外来診療日について
- 健康情報 *夏の脱水症予防*



社会医療法人 貞仁会

新札幌ひばりが丘病院

理事長/院長 高橋 大賀

内科・消化器内科・循環器内科・緩和ケア内科・老年内科・漢方内科
ペインクリニック内科・整形外科・循環器外科・リハビリテーション科

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条2丁目12番1号

発行 サービス向上委員会

CT装置が2023年3月より新しくなりました。

《Canon製 80列マルチスライスCT Aquilion Prime SP》を導入

最新のマルチスライスCT装置でより安全な精密検査が受けられます



① 心臓CT検査が受けられます！！

心臓カテーテル検査と異なり非侵襲的に冠動脈評価が得られる検査法です。冠動脈の血管内プラークの有無や性状などについて知る事ができます。心臓CT検査は循環器内科が行い、造影剤を経静脈的に注入しながら10秒間程の撮影で検査は終了となります。検査のための準備時間を入れても15～20分程度で終了となるため、通常は外来にて検査を行います。

冠動脈CT①



正常冠動脈
冠動脈CT(3D画像)



正常冠動脈
冠動脈CT(MIP画像)

冠動脈CT②



正常冠動脈
冠動脈CT
ストレートCPR



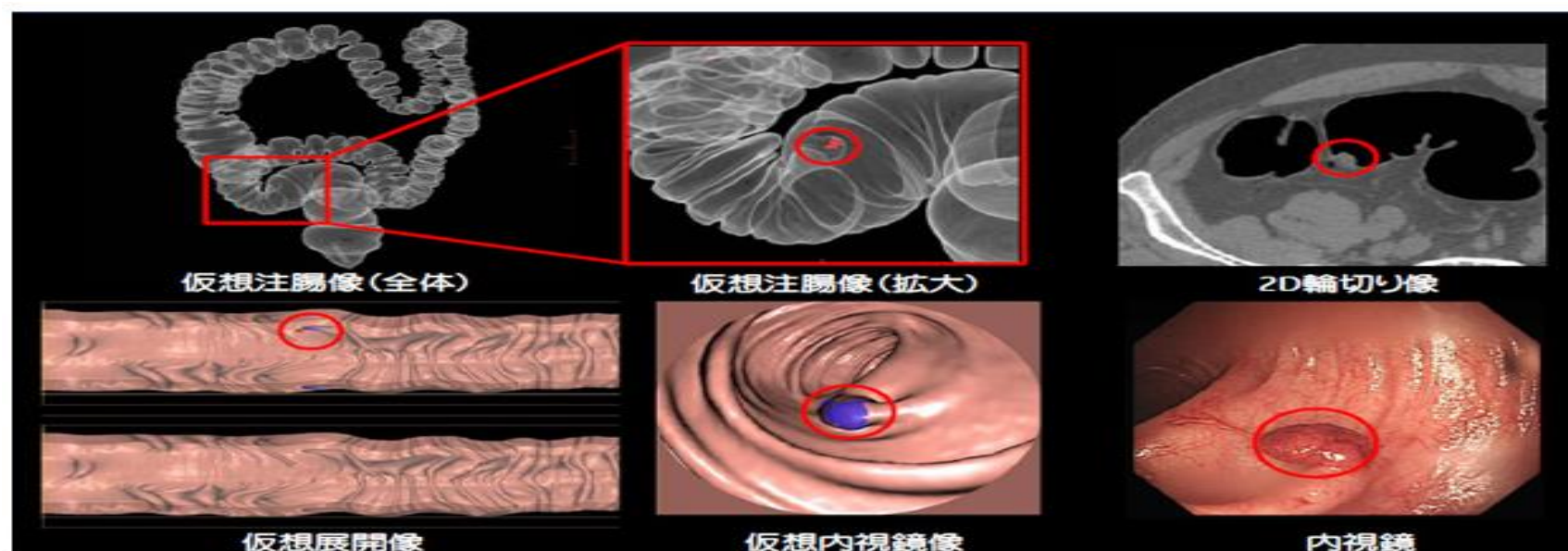
正常冠動脈
冠動脈CT
ストレッチCPR



正常冠動脈
冠動脈CT
直交断面

② 大腸CT検査が受けられます！！

大腸に炭酸ガスを注入して十分に拡張させた後、マルチスライスCT装置を用いて撮影を行いコンピューター処理をすることで、内視鏡を挿入しなくても内視鏡のように大腸内を観察する検査です。また、大腸の3次元画像を簡単に得ることができます。大腸内視鏡検査と比較して、苦痛が少なくスムーズに大腸を検査することが可能です。また、患者様への抵抗感も少ない検査法です。



新任医師のご紹介

ペインクリニック内科 今久子 医師



2023年7月に着任しました今久子(こんひさこ)です。

1980年札幌医科大学卒業。同年札幌医科大学麻酔学教室入局。市立小樽病院・市立函館病院・北海道小児保健センター・JR札幌鉄道病院・桜台脳神経外科病院・札幌ひばりが丘病院・町立長沼病院に勤務。札幌東豊病院・琴似産婦人科クリニックで手術麻酔を担当。1997年-1998年米国ハーバード大学付属 Brigham and Women's Hospital に産科麻酔臨床指導医として勤務。現在、青葉町でペインクリニック平和の院長をする傍ら、市立室蘭総合病院・町立長沼病院のペインクリニック外来と小樽レディースクリニックで手術麻酔を担当しています。

専門疾患は、急性疼痛(ぎっくり腰・寝ちがえ)、腰部脊柱管狭窄症、神経障害性疼痛(帯状疱疹後神経痛・手術の後に長く残る痛みなど)痛みに苦しむ患者さんの心が癒される場でありますよう心がけております。

好きな事は、編み物をしながら国会中継を観る時間です。

どうぞよろしく願いいたします。

ペインクリニック内科

毎週月曜日 13:30~16:30 予約制



5月25日・6月29日病院周辺のごみ拾いを行いました！！

「自分たちの病院をきれいに保とう」「少しでも地域のお役に立てることをしたい」と、今年度もごみ拾いを実施しました。院長をはじめ、医師、看護師、コメディカル、事務職を含む全職種の職員が参加しました。仕事前のごみ拾いは気持ちのいいものでした。今後も継続して実施したいと考えております。



皆、清々しい顔
していますね



8・9・10月 土曜日の外来診療日変更のお知らせ

8月5日・26日 / 9月9日・30日 / 10月7日・28日

※救急・新患外来は受付していません

ご理解とご協力をお願いいたします。

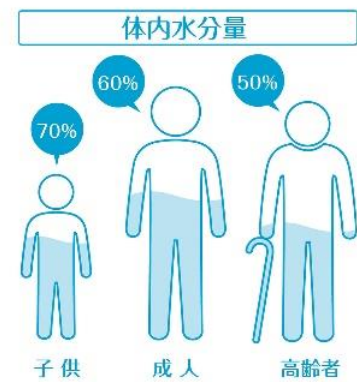


夏の脱水症予防

脱水症とは...

私たちの体の60~70%は体液という水分でできています。この水分が正常よりも足りなくなっている状態が脱水症です。

夏の気温の上昇や、激しい運動で多量の汗を流すことなどにより、多量の水分が失われると体液は減少してしまい、補給が追い付かないと脱水症状が起こります。



脱水症の症状

【軽度】

のどの渇き、めまい、ふらつき、食欲不振など



【中度】

頭痛、嘔吐、尿の減少など

【重度】

意識障害、けいれんなど
逆にのどの渇きが減ってしまうこともあります

軽度であれば、ご自身で対処し、すぐに水分補給を行ってください。

このとき、一度に大量の水を摂取すると、体内の電解質のバランスが崩れて体調不良を引き起こすこともありますので、塩分(市販のポカリスエット・OS-1など)も補給してください。

中度や重度の症状がみられた場合は速やかに受診してください。

脱水症にならないための予防法

こまめに水分補給をする。

喉が渇いていないと感じなくても、
少しずつ飲みましょう。



過度のアルコールは控える。

お酒には利尿作用があるため、
脱水症状が進んでしまいます。



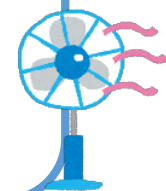
就寝前・起床後にコップ1杯の水を飲みましょう。

就寝時は脱水が起こりやすい。



適度に空調を使用する。

エアコン・扇風機を上手に利用しましょう。
(熱帯夜になると睡眠中に大量の汗をかき、
体内の水分が失われます。)



脱水症状で起こる夏血栓



夏血栓とは夏に起こる血栓症のことです。脱水症状で血液がドロドロになり、血のかたまり(血栓)ができやすく、できた血栓が詰まってしまう状態です。血管が詰まる場所によって病名が変わり、脳なら脳梗塞、心臓なら心筋梗塞、肺なら肺塞栓です。

脳梗塞は睡眠中と朝の起床後2時間以内に集中して発症していますので、就寝時の水分不足には十分注意してください。

